

フォートブラッグ受入事業の報告

大槌町では、姉妹都市であるアメリカ・カリフォルニア州フォートブラッグ市との友好関係をより深化させると同時に、誇りを持って大槌の魅力や特性を世界に発信できる「グローバル」な人材の育成を図るため、平成13年度より姉妹都市生徒間交流事業を実施しております。

今年度は、平成29年9月15日（金）から22日（金）の間、フォートブラッグ市から市長夫妻を含む10名の方々が来町しました。フォートブラッグ市からの派遣団は、公募により選ばれたホストファミリーとのホームステイ生活や、町内学校訪問、文化体験プログラム等に参加しながら、町民との交流を深めました。

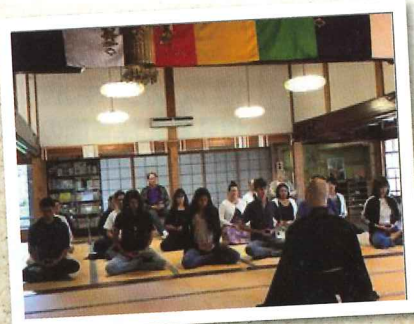


来町時の様子

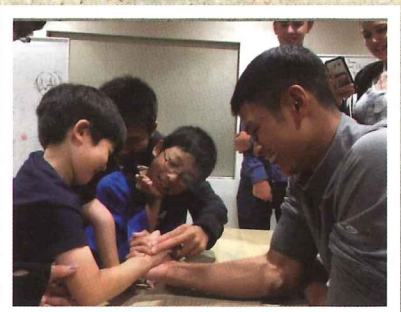
お祭りにも参加！



大人の方々は刺し子体験に参加



生まれて初めての座禅 @吉祥寺



どっちが強いかな？



大槌高校の友達とも仲良し！



でっけえ兄ちゃんだな～



ホストファミリーとの楽しい時間

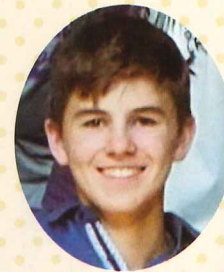


家族みんなで朝食！



Best Friends Forever!

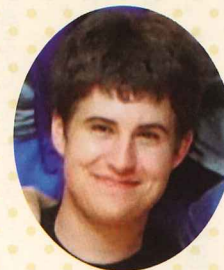
フォートブラッグ市 交流生



サム・ウェストくん (16歳)



ナタリア・バイザーさん (16歳)



ジェシー・ヨーマンズくん (17歳)



ナサニエル・フォンタニラくん (17歳)



マヤ・バイザーさん (19歳)

ホストファミリーの声

平成29年11月12日（日）、シーサイドタウンマストで事業報告会及び写真展を開催し、ホストファミリーを経験したご家族から、体験談や自身に起きた変化等を発表していただきました。



(生徒の意見)

- ・間違えてもいいから、積極的に英語で話すことが大事だとわかった。
- ・フォートブラッグ市の方々から、積極性やコミュニケーション能力の大切さを学んだ。
- ・フォートブラッグ市に行きたいので、英語の勉強を頑張りたい。
- ・英単語帳がボロボロになるまで勉強しており、本気で英語に取り組める気持ちになった。
- ・国際交流に興味が出てきた。いつか長期留学をしてみたい。
- ・今後は自分でお金を貯めて、自分でフォートブラッグや海外に行けるようになりたい。

(保護者の意見)

- ・実施前に不安だったのが、食事の用意と生活習慣の違いだった。しかし、事前研修があったので、そこで情報共有ができ、不安を解消することができた。
- ・スマートフォンの英訳アプリがあったので、意思疎通の面で苦労はしなかった。
- ・受け入れたフォートブラッグの子供が我が子のように愛おしくなった。
- ・次にホストファミリーとなる家族にも自分達の体験談を伝えていきたい。

今後の展開

3月15日（木）から24日（土）の間、今度は大槌からフォートブラッグ市へ中高生7名を派遣します。派遣される中高生は約1か月間の出発前研修を経た後、現地で英語を用いた大槌のプレゼンテーションを発表する予定です。その時の様子は、来年度の広報等でお知らせ致します。